



隠岐たんぽぽ



めぐれい

月日がたつのは早いものだなと、しみじみと痛感してきます。いろいろ、様々な出来事がこの一年皆様にもあつた事と思えます。

たんぽぽの種を飛ばし、温かく強い絆が根付きまますように。



今を生きとける私達、一歩ずつ前を見、胸を張って進んでいくように、日々精進していかねばと心に深く刻み込んでいます。一緒に手を取り合つて、進んでいきますように。よろしくお願ひいたします。

藤田 千鶴



学習会

平成25年9月田邊先生による勉強会で人生の最期をどう迎えるか?と題して話し合いました。

永海 郁子

治療が不能となり「ゴール点が見えてきた時、残された日々を心身両面に充実に近い過ごし方をするには?また症状の緩和を優先させながら住み慣れた家で、家族と共に過ごせる体制が必要と思われるが、それには家族構成等の問題があること、など色々考えさせられました。その後、医大の学生さんから老人性掻痒症に付いて話があり、

それには仔細な刺激によって悪化することが多いとのこと、不快感のない生活を送るよう心掛けるようにと教えられ、有意義な一日でした。



島前口帰りツアー & サロン交流会

平成25年10月20日(日)7名のサロン参加者と1名の隠岐病院看護師の8名は心配される曇りの空の中、意気揚々と船に乗り込み全員「三ッ笑顔で元氣いっはごでした。リーダーの緻密な時間計算により国賀赤壁等の観光を満喫し、サロンスマイル」さん5名との和気あいあいの交流を図ることが出来ました。コースターのお土産も大変喜んで頂き、無事に交流会を終えて、みんなの幸せを祈りながら散会しました。

安部 和子



まめなかのまつり



昨年11月24日、隠岐病院まめなかの祭りがありました。サロンたんぽぽもステージに立ち、いつものように賑やかに民謡を披露し、サロン活動を住民の方にPRしました。沢山の住民の方に見て頂きました。

田邊先生送別会

隠岐病院内科医の田邊先生がこの度転勤となりました。隠岐病院に4年間勤務し、サロンの勉強会に講師として何度も来て下さいました。サロンから感謝の意を込め、送別会を開きました。



平成25年度 活動記録



サロンからの声

『がん患者団体交流会』に参加して

横地 テツ子

私は初めての参加でしたが、全くのフリートークで、サロンの活動状況はあまり聞く事ができませんでした。ただ感じたことは「サロンはなぜできたのか」ということ…

グループによっては県の条例の話もあったようですが、病を抱えながらの介護の悩みを訴える方もいらっしやいました。話すことで気持ちも軽くなれたと思います。やはりがん患者として、苦しみやつらさを話せる、そして気軽にに行ける場であってほしいと強く感じました。

7月27日 出張学習会

『隠岐の現状』

隠岐病院 内科医長 田邊翔太

『平穏死のすすめ』

特別養護老人ホーム芦花ホーム

施設長 石飛幸三

9月1日 学習会

『最期の過ごし方』

隠岐病院 内科医長 田邊翔太

『老人掻痒症』

自治医科大学医学部実習生 藤井

10月20日

島前日帰りツアー

サロンスマイルさんとの交流会

11月24日

隠岐病院まめなかのまつり 参加

12月17日

島根県がん対策推進室との意見交換会

1月19日

新年会&プチ勉強会

『離島における在宅緩和ケアの現状』

隠岐病院 保健師 福浦祐子

3月7日

がん患者団体等交流会 参加

3月14日

田邊先生送別会

3月27日

がん診療連携拠点病院長等と
がん患者団体等との意見交換会参加

ご案内

がんという病気を抱えた人になかなかわからないいろいろな悩み、がんの身内を支える家族支えてきた家族でしかわからない苦悩、患者同士の家族同士だから分かりあえる思いがあります。

不安や悩みを話すだけでも気持ちの整理がついたり、悩みを解決する糸口が見えてきたり…患者さま主催の会です。自由に参加できます。気分転換や癒し、情報交換の場として是非ご利用ください。

場所 隠岐病院2階講堂

日時 毎月1日 16日

午後2時〜4時

1月1日、8月16日はお休みです

費用 参加された時200円

申込 不要

どなたでもご自由に参加いただけます。

お問い合わせ先

藤田千鶴 ☎5-3711

事務局 隠岐病院地域連携室

☎2-1306(代)

